

業 務 仕 様 書

業務名：東京学芸大学（小金井他）緑地管理業務

令和 8 年度

国立大学法人東京学芸大学 財務・研究推進部 施設課

業務名

東京学芸大学（小金井他）緑地管理業務

業務場所

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 小金井団地(大学)内

東京都練馬区東大泉5-22-1 東京学芸大学 大泉団地 大泉寮構内

東京都小平市鈴木町1-102 東京学芸大学 小平団地内 小平寮構内

東京都東久留米市氷川台1-22-2 東京学芸大学 東久留米団地 国際学生宿舎構内

業務期間：令和 8 年 5 月 14 日(木)から令和 8 年 10 月 9 日(金)まで

業務仕様

- (1) この植栽管理業務（以下「業務」という。）の受注者は、東京学芸大学工事請負契約要項別記第1号の工事請負契約基準、本業務仕様書、別紙（図面）2枚、国土交通省建築保全業務共通仕様書（令和5年版）、文教施設保全業務標準仕様書（令和5年版）に基づき業務を行う。
- (2) この業務の受注者は、発注者又は検査職員の行う検査に合格したときは、請負代金の支払いを請求できる。請負金の支払いは、東京学芸大学財務・研究推進部経理課より業務完了後に1回で支払う。
- (3) 本業務仕様書に定めがない事項は、監督職員と協議する。
- (4) 業務が困難な部分等の対応については、事前に監督職員と協議する。

業務条件

- (1) 小金井団地における草刈りは、【1回目作業は6月17日まで】に、【2回目作業は8月15日まで】に、【3回目作業は10月9日まで】に、完了させる。（天候等による変更あり。）
- (2) 各作業回を行う2週間前までに、【実施日程表と計画図】を作成し、監督職員に提出すること。
- (3) 各団地での作業時間は、8：30から17：00まで（原則）とする。
- (4) 小金井団地の講義棟（中央2・3・4号館、西4号館）周辺の作業では、工具が発するエンジン音が講義等に影響するため、監督職員と日程調整の協議を行い、土休日作業となる場合もある。
- (5) 本業務の担当者は、作業員個々の作業内容を把握する。
- (6) 計画した作業日が、雨天や猛暑の予報日になった際には、監督職員と協議し日程調整をする。
- (7) 草刈りが回数毎に完了した際には、監督職員に通知し、その都度検査を受ける。
- (8) 構内道路・側溝・工作物・地下埋設物等を汚損・破損した時は、監督職員と協議の上、現状に復旧する。
- (9) 作業中は、人や車両及び窓ガラス等へ草刈機による飛び散りを発生させない様に周囲を養生する。
- (10) 教育研究・観賞植物には、竹棒や紐等の目印を事前に設けておく。その対象は、監督職員と事前に立会ながら位置確認をする。
- (11) 小平団地の管理区画されたフェンス内に立入る作業計画では、監督職員と事前に日程調整を行うこと。

業務内容

- ・「業務仕様書」及び「別紙１」「別紙２」に図示した業務範囲と実施時期に従う。
- ・樹木、株物、柵、園芸花等を損傷しないように注意し、刈りむら無く均一に刈り込む。
- ・刈り高は、G L + 5 c m以下とする。
- ・中低木や工作物等の周辺は、刈り残し刈りムラが無い様に仕上げる。
- ・その中低木やフェンス等に絡み付いているツル草も地際で切断し、ツル全体を取り除く。
- ・ササや実生木（幹まわり 7 c m以下）も、地際で刈り取る。
- ・刈り放し範囲の刈った草は、周辺に均一に敷き均す。
- ・集積範囲の刈った草は、雑草・幹枝・ササに分別し、図示場所に集積する。
- ・草地以外の道路や運動施設等に刈り草が飛散した場合は、清掃片付けを行う。
- ・草刈りは、機械刈りとする。なお該当する工具運転の講習受講証明書を事前に提出する。